

そのファイル転送 危険です

従来のファイル転送における主な課題



課題①

重要ファイルの漏えい
メールの誤送信やクラウドサービスへの誤ったアップロードによる情報漏えい



課題②

内部不正による漏えい
退職者によってライバル企業へ不正に持ち出されてしまい情報漏えい



課題③

添付ファイルからウイルス感染
パスワード付きZIPファイルの中身までチェックができず、ウイルス感染の恐れ



課題④

ファイルの転送履歴が残らない
ファイルがダウンロードされたか等の確認ができず、ファイル管理が不十分



ファイル転送サービス チェックリスト

1つでも赤字に該当する場合、対策が必要です

No	質問	チェック項目	
1	パスワード付きZIPファイルをファイル送受信時に使用している	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	転送前の 対策 が必要!
2	個人情報や技術情報など、機密情報を含むファイルの管理が行き届いていない	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
3	クラウドサービスの設定ミスや誤送信などのヒューマンエラー対策を行っている	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
4	内部からの情報漏えいの対策を実施している	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	転送後の 対策 が必要!
5	転送後もファイルの利用状況を管理している	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	
6	利用しているファイル転送サービスの価格が高くて、サービスの見直しを行いたい	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	コストと サポート体制 の見直し!
7	すでに利用しているファイル転送サービスがある	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	

ファイル転送サービス「f-FILTER」が課題を解決します！

詳しくはこちら



f-FILTER®

転送前の漏えい対策

総合的なセキュリティ判定を行うことで情報漏えい対策が可能

アンチウイルス



通常ファイルはもちろん、パスワード付きZIPファイルの中身までウイルスチェックを実施。送受信ファイルの安全性を確認。

DLP (情報漏えい防止)



デジタルアーツ独自の定義により、海外製品だと判定が難しい日本特有のデータや日本語の判定が可能。

ファイル判定



以前外部共有をしたファイルの情報との一致度や宛先情報、タグ情報から外部共有可否を総合的にスコアリング。

上長承認



機械判定では制御しきれない機微な情報を「人の目」で確認することで、ファイルの誤送信や不正持ち出しを防ぐ。

転送後の漏えい対策

ファイル管理により、安全なファイル運用が可能

閲覧許可 ユーザーの指定



閲覧を許可するメールアドレスを指定し、許可されていないユーザーはブロック可能。共有URLの公開設定ミス防止。

ファイル 持ち出し制限



ダウンロードさせたくないファイルはブラウザでの閲覧のみ許可することも可能。

ファイルのログ確認



受信者のファイル閲覧・ダウンロード履歴を確認でき、転送後のファイル管理が可能。

閲覧権限の変更



万が一の誤送信時や退職者による内部不正を防ぐために、渡したあとでも閲覧権限をなく奪うことが可能。

充実のサポート体制

国内メーカーだからこそ実現できるサポートと価格体制



- ✓ 迅速なサポートと安全な品質を保証
- ✓ 開発からサポートまで自社で一貫して対応
- ✓ 高いコストパフォーマンスを実現